

お礼にかえて 8月7日

学校長

暑さ厳しい昼下がり、学校へ足を運んでいただいた三者面談も本日が最終日となりました。全学級、予定通り終了することができそうです。保護者の皆さまには改めて感謝申し上げます。限られた時間でしたが、学校での子供たちの様子をお伝えするとともに、明日に向けての目標や課題の共有もしていただけたことと思います。

言うまでもなく、私たち教員は一人一人が教育のプロとして、それぞれの専門性や持ち味を活かして学校での指導にあたっておりますが、子供たちに寄り添い、健やかな成長に導いていくうえで、ご家庭との連携なしに前へは進めません。



ソーシャル・ディスタンスは、物理的な距離であり、子供たちの今をそして未来を共に思う大人同士としての「心の距離」は、今回の面談を通して、家庭訪問や宅配を重ねた5月の頃よりも、さらに縮めることができたと思っております。

さて、そのように意義深い今回の三者面談ではありましたが…テレビのニュース番組等では見慣れてきたし、街のコンビニでは当たり前になってきたとはいいいながら、実際に教室のセッティングをしてみると、私たちも違和感を覚えた風景になりました。何よりも、午前中に担任と学校生活をともにしている生徒たちは、午後からの特別に改まった面談舞台に、不思議な感じを持ったかも知れません。

2mを確保するための三角な座席配置。担任の前に置かれた飛沫防止透明ボード。さらにはマスクやフェイス・シールドを着用しての会話。机の消毒など。どれもこれも、業務上多くの人間と接している私たち教員が、保護者の皆さまに「コロナ感染の不安」をお持ち帰りいただかないための工夫でした。一日も早く、もっと近くでシールドなしの懇談をしたいと担任の誰もが願っております。

先週からは徳島県内でも毎日のように感染発表が続き、クラスターまで発生し、県も昨日「とくしまアラート」を一段階レベルアップさせました。

家族の帰省や親戚との会食など、お盆のこの時期にこれまでずっと大切にしてきたことを、いつものようにできないことは本当に歯痒いのですが、「相手のことを思いやる気持ち」は、いつもよりも確かなものとして、私たちそれぞれの中に育まれているように感じます。



津田の盆（ぼに）踊り

明日からは再び短い夏休みです。夏を疾走し続けている生徒たちには、しっかりとリフレッシュして欲しいものです。阿波踊りのない夏は、きっと静かにゆっくりと過ぎていくはずですから。